

平成14年度雑草防除基準に採用した水稻除草剤

水稻用除草剤イノーバ1キロ粒剤(初期一発処理剤)ミスターホームランフロアブル・サットフルフロアブル(初・中期一発処理剤)を平成14年度雑草防除基準に採用した。

これらの除草剤の使用方法和除草効果について紹介する。

新規薬剤の特徴

イノーバ1キロ粒剤75・・・使用時期が、**移植直後～ノビエ1.5葉期まで**の初期一発処理剤。2成分で効果が高く、**専用散粒機での田植え同時処理が可能**で省力性が高い。

ミスターホームランフロアブル・・・使用時期が、**移植後7日～ノビエ2.0葉期まで**の初・中期一発処理剤。本県基準に新規に採用するヒエ剤**オキサジクロメホン**を含む薬剤である。

サットフルフロアブル・・・使用時期が、**移植後7日～ノビエ2.5葉期まで**の初・中期一発処理剤。新規ヒエ剤**オキサジクロメホン**を含む。**3成分混合剤でノビエ2.5葉期まで**効果の高い剤である。

表1. 防除基準に採用した薬剤の使用方法

区分	初期一発処理剤	初・中期一発処理剤	
除草剤名	イノーバ1キロ粒剤75	ミスターホームランフロアブル	サットフルフロアブル
有効成分(含量%)	フェントラザミド(2.0%) ヘンスルフロンメチル(0.75)	オキサジクロメホン(1.2%) クロメフロップ(7.0%) ヘンスルフロンメチル(1.4%)	オキサジクロメホン(0.8%) ピリミナックメチル(0.9%) ヘンスルフロンメチル(1.4%)
使用時期	移植直後～10日 (ノビエ1.5葉期まで)	移植後7日～12日 (ノビエ2.0葉期まで)	移植後7日～15日 (ノビエ2.5葉期まで)
10a当り使用量	1kg	500ml	500ml
処理方法	湛水散布(専用散粒機による田植え同時処理可能)	原液湛水散布	原液湛水散布
人畜毒性	普通物	普通物	普通物
魚毒性	A類相当	B類相当	A類相当

表2. 基準に採用した薬剤の選択殺草性と殺草幅

商品名	残効期間(日)	一年生雑草					多年生・その他雑草					特記事項		
		ノビエ	タマガヤツリ	その他	マツ	ホタ	ハラオ	ミズガヤツリ	ヒル	アオミドロ表層剥離	クロ		オモ	シズイ
イノーバ1キロ粒剤75	35	1.5葉												セリにも卓効
ミスターホームランフロアブル	40	2.0葉												セリにも卓効
サットフルフロアブル	40	2.5葉												セリにも卓効

凡例 著効(効果極大の中でも、殺草力、残効が特に著しいもの)、効果極大、効果大、効果中、効果小、×効果なし、-未確認

注1. 表中の1.5葉・2.0葉等は殺草幅を示し、ノビエ1.5葉は、圃場内で最も生育の早いノビエが1.5葉期になるまでに使用すると効果が高いことを示す。